



KEIO SPORTS SDGs

シンポジウム

2026

行動が変われば社会が変わる

スポーツでひらく 持続可能な未来

2026年 **3月7日** **土** 13:00～17:00 (開場12:30)

会場

慶應義塾大学日吉キャンパス
独立館DB203教室

参加費

無料



Play Us.
Play Universal.

定員

200名 ※後日、講演動画を配信予定
(申込者への期間限定公開)

参加申込方法 Peatixでの事前申込
(<https://keiosportssdgs.peatix.com/>)



主催：慶應義塾大学

担当：KGRI 慶應スポーツSDGsセンター スポーツ医学研究センター
大学院健康マネジメント研究科 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
体育研究所 SFC研究所 xSDG・ラボ 医学部スポーツ医学総合センター
グローバルリサーチインスティテュート

後援：スポーツ庁 厚生労働省 神奈川県 横浜市にぎわいスポーツ文化局
(予定) 横浜市スポーツ協会 健康・体力づくり事業財団 笹川スポーツ財団
NPO法人日本健康運動指導士会 慶應ラグビー倶楽部
神奈川県立産業技術総合研究所

●問い合わせ先

慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター
電話：045-566-1090 FAX：045-566-1067
e-mail: keiosportssdgs@gmail.com



Sport in Life



Keio University
Tokyo, Japan



1858
CREATING GLADDO FORTURE

本イベントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

～行動が変われば社会が変わる:スポーツでひらく持続可能な未来～

企画概要

KEIO SPORTS SDGsは、慶應義塾のスポーツ・運動・身体活動を推進する専門部門と関連部門が連携する横断型プラットフォームです。自治体や企業など多様なステークホルダーと協力し、持続可能でインクルーシブなスポーツ・身体活動の促進を目指して、広範なプロジェクトに取り組んでいます。2022年度以降は、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュートのスタートアップセンターとして活動し、2024年4月からは正式なセンターとして活動を拡大してきました。

2025年度は、4つの専門分科会を中心に、スポーツを通じた持続可能な社会づくりに向けた取り組みを強化しています。本シンポジウムでは、2025年度のKEIO SPORTS SDGsの進捗状況や具体的な取り組み事例を報告するとともに、一人ひとりがアクションを起すことから始まる、インクルーシブでサステナブルなスポーツの価値を再考する機会とします。さらに、各分科会からの最新のアップデートを共有し、スポーツを通じた持続可能な未来に向けて、多様なステークホルダーとの連携を深める場とします。

シンポジウム趣旨説明

KEIO SPORTS SDGs 本年度の活動と今後の展望

慶應スポーツSDGsセンター センター長
慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 大学院健康マネジメント研究科 教授

小熊 祐子



セッション①

まちと職域がつくる、心の健康と行動変容 ～環境と仕組みから考えるウェルビーイング～

健康で生き活きと働くために

慶應義塾大学総合政策学部
大学院健康マネジメント研究科
教授

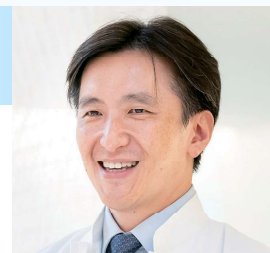
島津 明人



デジタル時代の こころの健康づくり

慶應義塾大学医学部
医科学研究連携推進センター
教授

岸本 泰士郎



セッション②

だれもが主役になれる地域へ ～インクルーシブな場づくりが育む、スポーツとコミュニティ～

「レジリエンス・スポーツ®」で つなぐ地域福祉: 世田谷における10年の実践

一般社団法人輝水会
理事

木畑 実麻



脳性麻痺者7人制サッカー (CPサッカー)における SDGsの現在地

慶應義塾大学体育研究所 准教授
CPサッカー男子日本代表 コーチ

福士 徳文



オンライン特別講演

※事前配信予定

When it comes to physical activity policy for population health, are we -as a physical activity community- up to the challenge?

(和訳) 国民の健康増進のための身体活動政策について、
私たちは、身体活動コミュニティとして、
しっかり取り組んでいるだろうか?

University of Limerick
Physical Activity for Health Research Centre
Chair in Physical Activity and Health

Professor Catherine B. Woods



SDGsから ビヨンドSDGsへ

慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科
／KGRI・Keio STAR

蟹江 憲史

